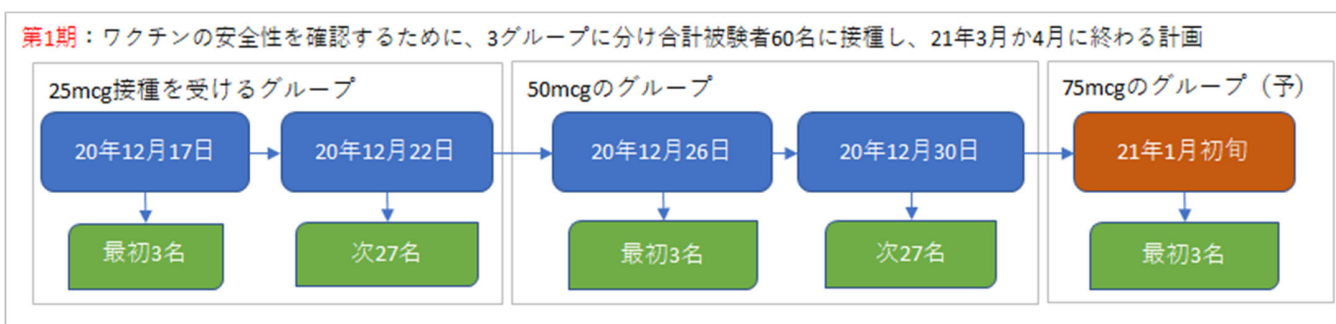


2021年1月7日

## コロナワクチンの治験状況

ナノコボックス（Nanocovax）はホーチミン市の製薬企業「ナノゲン（Nanogen）」社が開発中のコロナウイルスのワクチンです。ナノコボックスの治験状況は当初の計画と比べて少し遅れていますが、これまでの進捗は以下の通りです。



第1相臨床試験では、各グループへの1回目の接種は前のグループの注射が完了してから最低72時間の反応を観察しながら進められている。一人の被験者に対して1回目の接種の後28日の間隔をおいて2回目の接種を実施。各被験者の観察期間は約56日とされており、全体で4-6か月の観察期間となる予定。第1相試験は21年3月～4月に終わる計画となっています。

今まで接種された40人のうち、約60-70%に副作用があったと報告されていますが、多くは37.1-37.8度の軽く発熱した程度で解熱剤を必要とする程度には至りませんでした。また、接種局所での腫脹・痛みがあることも認められています。これらは通常反応・副作用の範疇の収まるもので心配の必要はないとされています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

全体の臨床試験は3相に分けられています。

第1相=4か月：ワクチンの安全性の確認期間、被験者60名

第2相=4か月：最も効果が高いと思われる投薬量につきさらに、被験者400-600名

第3相=8か月：ワクチンの安全性、免疫誘導性と効果の再評価、被験者1,500-3,000名（場合によっては1万-3万まで接種拡大）

ワクチン開発については、さらに、今月中にもう一つの新しいワクチンが治験段階に進むとみられています。ワクチン・生物学的製剤研究所（IVAC）が医療省に1月中にCOVIVACというワクチンの治験の許可を申請すると今月3日のニュースで報じられました。許可がおりれば、1月中には治験が開始される予定です（これは当初の計画より2か月早いものです）。



計画によれば、IVACはハノイ医科大学と国立衛生疫学研究所（NIHE）と提携して、ワクチンの治験を行います。ワクチンは、1mcgと3mcgに分けられ、治験手順は先述のナノボックスの治験と同様に3段階・3相に分けられることになっています。各被験者が28日間隔で2回接種されるのも同じです。第1相は21年4月に終了する計画。順調に進めば、この2番目のワクチンは21年末に市場への供給が可能となる予定です。

【写真提供：JVRC】 <http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。